

記録表 発行日	2019年 7月 26日	検印
注番	U -	

(自走式)木材リサイクル機械
CJ受入35項目検品表



中京重機株式会社

〒465-0057 愛知県名古屋市長区陸前町1705
サービス部 フィールドサービスグループ
TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	諸岡	型 式	MC-6000	機 械 所 有 者	様
製造(シリアル)番号	6157	アフメーター	2772HR	検 査 年 月 日	2019年 7月 25日 (木)
エンジン型式	C18	検 査 者 名	筑摩	検 査 実 施 場 所	本社内 日進ヤード ()
エンジンシリアル	3591812	特 自 検	特自検ステッカー 有・(無) / 点検日 年 月 / 点検者		

※ エンジン始動後、ローアイドルリング(低速回転)にして、無負荷運転を約5分間実施の事

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	評 価	備 考		
エ ン ジ ン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B C D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B C D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B C D E		
			d. ブローパイガス	漏れ具合、漏出量		A B C D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B C D E		
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B C D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローパイ量の計測		測定器を使用して 計測	A B C D E	0.4 L/min
	2	潤滑装置	油量、汚れ、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(しみ)、損傷	目視	A B C D E	ゲージ		
	3	燃料装置	燃料しみ漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B C D E			
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、燃料の汚れ具合	目視	A B C D E			
	5	燃料油種	(軽油・灯油・A重油・茶灯油)	目視 or 嗅診	A B C D E			
	6	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ(サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A B C D E	クーラント濃度 10%	
b. 水漏れ			ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック	A B C D E				
c. ラジエータ			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ	A B C D E				
d. オイルクーラー			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ	A B C D E				
e. ベルト/ウォーターポンプ			たわみ、摩耗、損傷、ガタの有無と程度	A B C D E		緩み		
f. 水温計			正常(適温)表示	良 不良				
g. その他			ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など	A B C D E				
7	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、腐食、リウ状態	目視 or 触診 or 電圧計	A B C D E	電圧 約 27.7 V(ボルト)			
		搭載バッテリー型式 ⇒ [195・G51]	目視	A B C D E				
走 行 装 置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵(リモコン操作も同様)	操作	A B C D E			
	9	起動輪・遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 触診 or 聴診 or 探傷剤	A B C D E			
	10	上部ローラー・下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B C D E			
	11	履帯	ゴム	欠け、劣化、摩耗、亀裂傷、スチールコード切断、損傷、心金脱落、たわみ	目視	A B C D E	クギささり	
			鉄/PAD	(シュー)クラック、変形、摩耗、シューボルト・ナット取付緩み、リンク・ブッシュクラック/欠け、ピッチ伸び、たわみ、固着				
	12	履帯調整装置	作動、調整ボルト損傷、変形、腐食、摩耗、シリンダー油漏れ	目視 or 操作 or 探傷剤	A B C D E			
13	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ ※減速機の油量チェックは必須の事	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E				
作 業 装 置	14	投入部	a. ホッパ	正転逆転作動状態、ホッパーモータ出力スロケットおじぎ	目視 or 操作 or 触診	A B C D E		
			b. 駆動チェーン	駆動チェーン緩み、連結ピン脱落、グリス塗布	目視 or 操作 or 触診	A B C D E		
	15	破碎部	a. カッタ	ピット(固着の有無)、カッタプレート摩耗、軸ゆがみ	目視 or 触診	A B C D E		
			b. カッタドラム	入出カシャフトケース内状態、チェーン摩耗、キーの損傷、グリス量	開閉目視 or 触診	A B C D E	ドラムをハールで可動チェック	
			c. スクリーン	スクリーン内(破碎室)側摩耗、割れ、凹み	目視 or 触診	A B C D E		
	16	過負荷	d.ドラム	木をドラムに挟み過負荷状態で10分	実施 未実施			
	17	—投入(フロア)コンベア	スピード調整可否、正転逆転作動、張力の緩み、	目視 or 操作	A B C D E			
	18	—磁選機	作動可否、張力の緩み、ゴムの劣化・亀裂有無など	操作 or 吸着確認	A B C D E			
18	排出コンベア	正転逆転(昇降)作動、張力の緩み、調整の必要有無など	目視 or 操作	A B C D E				
油 圧 装 置	19	作動油タンク	残油量(適量・中・少・無)、ゲージの汚れ	目視	A B C D E			
	20	コントロールバルブ	油漏れ、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	21	油圧メインポンプ	油漏れ、異常振動、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	22	ホッパモータ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	23	カッタモータ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	24	コンベアモータ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 触診	A B C D E			
	25	油圧ホース類	接続、カシメ部の漏れしみ、損傷、劣化、摩耗	目視 or 触診	A B C D E			
			ホッパ開閉シリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり、該当しない	目視 or 操作	A B C D E		
26	油圧シリンダ	コンベア昇降シリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり、該当しない	目視 or 操作	A B C D E			
		スクリーン開閉シリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり、該当しない	目視 or 操作	A B C D E			

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
安全装置・車体関係等	27	座席	座席調整、ロック作動、取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C D E	
	28	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取付ガタ	目視	A B C D E	
	29	灯火装置、警報器、方向指示器	作動、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B C D E	
	30	計器類	作動	操作目視	A B C D E	
	31	セキュリティ	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 無	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	32	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A B C D E	
	33	給油脂	給油脂状態	目視 or 操作	A B C D E	
	34	キャブ	亀裂、変形、腐食、アクリルのガタつき、破損、錆つき	目視 or 操作	A B C D E	
	35	レバー類	効き、操作、変形、損傷、はずれ	目視 or 操作	A B C D E	
36	非常停止装置	作動状態	操作	良 不良		

実機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事

No. 1	エンジンブローパイホース亀裂
No. 2	
No. 3	
No. 4	
No. 5	
No. 6	ファンベルトゆるみ
No. 7	
No. 8	
No. 9	
No. 10	
No. 11	
No. 12	
No. 13	ホッパー投入部破損(カッタードラム廻り) ホッパーガイドローラーブッシュがたつき
No. 14	ドラムベアリングがたつき カッターモーター油漏れ
No. 15	
No. 16	
No. 17	コンベアベルト偏り
No. 18	
No. 19	
No. 20	メインポンプより油漏れ(要調査)
No. 21	
No. 22	カッターモーターより油漏れ(要調査)
No. 23	
No. 24	
No. 25	
No. 26	オペレーターシート表皮破れ
No. 27	ステップ曲がり変形
No. 28	
No. 29	
No. 30	
No. 31	ミラー欠品
No. 32	
No. 33	
No. 34	
No. 35	
No. 36	

- 備考
1. 検査結果を評価欄の5段階評価(A~E)の中で該当する程度・状態を○で囲む。
 2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。

概要評価基準

- A: 新品に近く非常に良好な状態の場合
- B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合
- D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合
- E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合

個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)

- A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%
- B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
- D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
- E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%

エンジンオイル、エレメント交換
燃料エレメント交換
エアーエレメント交換
ブローバイホース交換
ベルコンフレーション修正、ゴム調整
破砕ガード張替え
破砕ドラムベアリング交換
破砕ビット交換
ホッパーローラーガタ部ブッシュ交換
カッターモータ油漏れ修理
油圧機器各部付近油漏れ点検、修理
カバー、ステイ板金修正
ミラー交換 作動油ゲージ漏れ修正
燃料ゲージ交換 座席シート交換
ホーン不良修正
破砕ドラムレバー中立調整
全塗装
エンジン通信点検

※着手後に内容が追加や変更となる場合がございます。

